

ウィザス

「ウィザス」はウィズ・アス=with us
 “共に生きる—男女共生社会”
 の理念をあらわしています。

特集

—会ってみたいな— 過去・現在・未来の弁当男子

女性ニュース・・・性被害者支援のために 性暴力救援センター・大阪(SACHICO)開設

平成13年に国の男女共同参画推進本部は、毎年11月12日から25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間と決めました。毎年この期間には全国各地で女性の人権を侵害するあらゆる暴力への予防啓発活動がなされています。一方で、予防啓発だけではなく、被害者に寄り添った被害者支援制度の整備も急務となっています。

被害者支援の一つとして、大阪では、2010年4月、性暴力救援センター・大阪(SACHICO)が阪南中央病院内に開設されました。SACHICOという名前の由来は、Sexual(性)、Assault(暴力)、Crisis(危機)、Healing(治療的)、Intervention(介入)、Center(センター)、Osaka(大阪)のそれぞれ

の頭文字からきています。SACHICOでは、女性の支援員が電話相談や診察前の基本情報の聞き取りなどを行っています。病院内に設置されているため、24時間体制で女性の産婦人科医が対応でき、性暴力被害者への救急医療として、緊急避妊・性感染症の検査などの産婦人科的診療や、必要があれば証拠採取も行います。

また、心のケアとしてカウンセラーや精神科医を紹介するほか、被害者のエンパワメントを支える場所としての役割も果たしています。

性暴力は心身ともに被害者を深く傷つけ、生きる力を失わせてしまうものです。周囲の被害者への理解や総合的な支援が求められています。



絵 A.S

ウィザスあしやフェスタ2012

未来への絆

日時 2012年3月4日(日)
 会場 芦屋市男女共同参画センター

親子であそぼう! 13:30~15:00 会場 ラ・モール芦屋1Fアトリウム

オープニング うたあそび
 なかよしひろば マジックハウス おてだま ビッグさいころ
 ダンボールとんねる おりがみコマ わりばしてっぼう

バザー 10:00~12:00 会場 会議室A
喫茶コーナー 11:00~14:00 会場 会議室E
共同制作 手をつなごう!
展示 グループ情報誌・活動発表
 展示期間 3月4日~29日(土・日・祝のぞく)

グループワークショップ 無料

3月6日(火) ◆13:30~15:30 学習会「中国雲南省・佤族の暮らし」
 ◆13:30~15:30 女性研究者支援~奨学生研究発表

3月8日(木) ◇10:00~12:00 お茶の間経済学習会
 ◇10:00~12:00 知って得する心理学
 ◆13:30~15:30 絵手紙体験会(材料費200円)

3月9日(金) ◇11:00~12:00 ティベート大会

3月10日(土) ◇10:00~12:00 セミナー「脳科学からみた人の相性」
 ◇10:30~12:00 朗読体験会「東・太郎と西・次郎」
 ◆13:30~15:00 講座「五感を使ったコミュニケーション」
 ◆13:30~15:30 学習会「あなたは悪くない」

申込方法 ①催し名 ②住所 ③名前 ④電話(ファクス)番号を記入し、芦屋市男女共同参画センターへ電話・はがき・ファクス・Eメールまたは窓口でお申込みください。一時保育希望の場合は、開催日1週間前までに子どもの名前、年齢(月齢も)を記入のこと。

女性相談

tel.0797-38-2022
 (予約電話)

「こんなことで…」と思わずに、まず、お電話を!相談は無料で、秘密は固く守られます。1回50分間の相談時間を確保し、専門の女性相談員がゆっくりとお話をうかがいます。相談は事前予約が必要です。上記の番号へお電話をください。
 ※無料の一時保育あり(予約制)

面接相談	曜日	時間
女性の悩み相談	第1土曜日	①13:00
	第1・3水曜日	②14:00
	第2・5金曜日	③15:00
暴力(DV)に関する相談	第1・3水曜日	各50分
	第2・4金曜日	

編集後記

男所帯となった実家。意外にも、週末に社員寮から帰ってくる兄が料理の腕を上げている。知人に釣りに誘われるようになり、釣果を仕方なく自分でさばいたのがきっかけ。今では食材の調理法を尋ねたり、美味しくできたと自賛するメールがくるようになった。そのうちこちらが教えてもらうようになるかも知れない。(管)

ワーク・ライフ・バランス

どせ!! 弁当男子

食材を買いに
 同じ野菜なのに
 値段がちがう?
 高いのか
 安いのか
 わからない!

一束 128円...
 えーっ
 国内外の産地のちがいが値段に反映しています

平成24年度 出展者募集

あなたのオリジナル作品の個展を開いてみませんか。芦屋市男女共同参画センターでは女性の文化活動と社会参加を支援することを目的として情報コーナー壁面を開放しています。展示を希望する方は芦屋市男女共同参画センターまでお問い合わせください。

- ★展示条件: 女性作者による個展(グループ展は不可)
- ★展示期間: 1ヶ月間
- ★使用料: 無料(搬入・展示・搬出は作者自身で)
- ★作品: 絵画、写真、書道、版画など

ウィザス No.69

平成24年3月発行

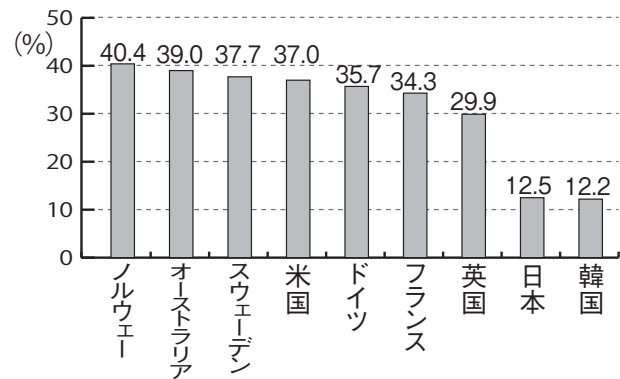
編集・発行 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや
 〒659-0092 芦屋市大原町2-6 ラ・モール芦屋2階
 tel 0797-38-2023 fax 0797-38-2175
 E-mail josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp

■開館日・時間: 平日(月~金)、第1土曜日 午前9時~午後5時30分
 ■休館日: 土曜日(第1をのぞく)、日曜日、祝日、振替休日、年末年始

URL <http://www.city.ashiya.lg.jp/sankaku/withus/centerwithus.html>

JR芦屋駅から東へ徒歩約3分
 阪急芦屋川駅、
 阪神芦屋駅から徒歩約15分

男女計の家事・育児時間に占める男性の割合



資料：内閣府 男女共同参画白書(平成19年度版)

プシ弁当男子？

小学生の子どもと夫、2人分のお弁当づくりが始まって3年になります。ある日、私が体調を壊して朝慌てたのをきっかけに、お弁当作りの大変さを夫が理解したようです。今では、ご飯をポウルに入れて蒸らす、魚焼きのグリルや唐揚げ用の油などを温める、出来上がったおかずをつめる、お箸やコップの用意など協力してくれるようになりました。全部作るとは難しいですが、それらの一部でも、本当に助かっています。

夫もお弁当を持参するようになり、それまで社内食堂や外食をしていた時のような移動や待ち時間がなくなり、お昼休みをゆっくり過ごせるようになったそうです。もちろん、家計の節約も言うまでもありません。

〈N編集委員〉

お父さんのおにぎり弁当



娘が小学1年生の時、私が突然入院することになった。給食のない学校なので弁当を作れないことが気がかりだったが、どうしようもない。娘の学校では週に1度、お弁当をおかずなしのおにぎりにする決まりがある。そのため、お腹がすかないよう、皆おにぎりの中の具を工夫する。唐揚げやソーセージなどでボリュームを出すのだ。

週末、夫に連れられ見舞いに来た娘の様子を尋ねると「お父さんがおにぎりを作ってくれたよ。」と答えた。

「中に何か入れてくれた？ ふりかけ？」

「きゅーりの○○ちゃんを入れてくれた。」

慣れない手つきで、おにぎりを握りながら何か具を詰めてやろうと頭をひねり悪戦苦闘する夫の姿が目についた。

〈A編集委員〉

会ってみたい

過去・現在・未来の弁当男子

意外な分野で活躍する女性や男性を「○○女子」「○○男子」と表現される昨今、「弁当男子」と聞いて、みなさんは料理好きな、料理上手な男性のことだと思いませんか？

自分のお弁当をつくる独身の男性のことから広がった言葉のようですが、みなさんの周りの「弁当男子」を応援してみませんか。



弁当男子体験記

月例のウィザス編集会議で「弁当男子」をテーマにすることが決まり、人生25年間で料理に疎遠だった自分が弁当を作ることになった。いろいろな不安がよぎるが、やるしかないと思い決めた。

いつも行く最寄りのスーパーに入り、野菜コーナーからスタート。野菜の価格は変動するらしいが、そもそも価格帯が分からないので、値段のことは考えずに。野菜の産地に注目しながら買い物をする、「普段食べているあの野菜はあそこの産地なのか」という具合に少し勉強になった。職場の人に「お弁当には赤・黄・緑の3色あれば十分」と聞き、それを合言葉にスーパーの中を進む。いつもよりスーパーに長居して、またいつもと違うルートでレジへ。会計後、野菜をレジ袋に入れる自分が新鮮で、なぜか少し高尚な気持ちになれた。

お弁当のおかず作りでは、まず最初に野菜を湯がくために、塩を少々、効果も分からぬまま入れたお鍋に。次に卵焼きを作り、ウインナーを焼いた。卵焼きは、弁当を作ると決まってから、密かに練習していたので、うまく作れた。おかずを詰めたが、色の配置がイマイチで、納得できる配色に入れ替えた。自然と見かけにこだわっていた自分に気付いた。

普段何気なくする買い物がとても勉強になり、何よりも全く料理をしていなかった自分にとって貴重な体験となった。料理ができる男になりたいと強く思うようになった。

〈センター職員〉



高校家庭科の男女共修が始まった1994年、この年、大阪府立高校で初の男性家庭科教員となった南野忠晴氏の著書「正しいパンツのたたみ方—新しい家庭科勉強法」(岩波ジュニア新書)のなかで、高校生の弁当のエピソードが紹介されています。

著者は英語教師を13年勤めながら家庭科の採用試験を再受験し、家庭科を担当しています。弁当作りをはじめ、生活を整えるのは親の仕事と思っている生徒があまりにも多いことから、入学式のあと「自立してゆこう」「自立させてゆこう」という気持ちを生徒にも保護者にも持ってもらうべく、生徒に毎日の弁当を自分で作ってみたいかと提案してみたそうです。卒業の日、一人の生徒が「先生、覚えてへんでしょ？入学式の時自分で弁当作りなさいって言うてんで。それで私、毎日弁当作ったんよ、3年間」と報告。もうやめようと何度も思いながらも弁当を作りつづけ、そのうち、家族の分

まで作るようになり、「今は続けて良かったと思う。先生が言ったとおり自信になった」とさわやかな笑顔を残して帰ったそうです。

弁当作りは、時間のやりくりからはじまり、材料の用意をすることで経費も考えるようになる、家族全体の食事や生活にも関心が広がる、自然に生活力が身につくことにつながると述べられています。

男性の家事・育児時間の国際比較をみると、諸外国と比べ、日本、韓国の男性の家事・育児時間の短さが目立ちます。単身赴任、学生、家から独立など、きっかけは色々でも、3度の食事を「作ってもらう側」から「作る側」にまわってみてはじめて、実感できることもあるかもしれません。「弁当男子」や「弁当女子」たちは、作る楽しさと作ってもらう嬉しさの両方を知り、生活時間を自ら組み立てる頼もしい存在なのではないでしょうか。

意外と大丈夫

お弁当をつくっている独身サラリーマンの男性にきいてみました。



*お弁当を自分で作ろうと思ったきっかけは？

単純に節約というのが動機です。独身だと一人分の食事をヘタに自炊するよりどうしても外食に偏りがちでした。食材を買い込んでも使う前に腐らせてしまったりして、結局トータルのコストはそんなに変わらないと以前は考えていたので。しかしある時、食費がかかりすぎていたことに気づき、弁当を含め、夜に3食分作っておけばいいや、という考え方にたどり着きました。

*自分でお弁当をつくった感想は？

3食同じ内容でも意外と大丈夫なんだなあ、と感じています。

*職場の周りの反応は？

「誰に作ってもらってんの？」などと聞かれます。自分で作っているとってなかなか信じてもらえませんが(^_^)



自然体のお弁当づくり、普段の生活の一部になっているのだと思いました。

〈K編集委員〉

南天の思い出

「えー、何それ!？」

私のお弁当箱をのぞきこむ友人たちの驚いた表情に、当時の私は赤面した。料理作りが趣味の父が、週に2、3回の幼稚園のお弁当日に、



いつも手作り弁当を作ってくれていたのだ。今で言うキャラ弁の走りだろうか。季節ごとに、庭に咲いていた小菊を入れたり、赤く色づいた南天の葉をおかずの上に置いたりしていた。

昭和ひとケタ生まれの父はサラリーマンだった。もともと料理作りが好きだったが、母の体が弱かったせいもあり、定時に帰宅すると、よく台所に立っていた。魚をさばくのも得意で、定番の料理よりも、いろいろと研究をしてアレンジしたものを作ることが多かった。幼稚園児のお弁当に、小菊や南天の葉が入っていたのも、そんな父のこだわりだったのだろう。

だからだろうか、男性が料理を作ること、お弁当を作ることに対して私の中で違和感はなく、むしろごく自然だと思って育ってきた。

最近「弁当男子」が流行りだという。自分のため、あるいは家族のため、大切な誰かのためにお弁当を作る。私自身、子どものお弁当を作るようになって初めて、それに込めた父の思いが理解できるようになった。

私にとって「弁当男子」は、もうずっと昔からの流行である。

〈Y編集委員〉